



● 今月のご紹介者

株式会社村上技研産業 代表取締役 村上 功 氏

『なぜ倒産 23社の破綻に学ぶ失敗の法則』

編著 / 日経トップリーダー 出版社 / 日経 BP 社



[概要]

破綻の真相には小説を超えるドラマがある ---

経営者向けの月刊誌「日経トップリーダー」が、帝国データバンク、東京商工リサーチの協力を得て、近年、経営破綻した中堅・中小企業 23 社を徹底取材。その要因をあらゆる角度から分析すると、破綻に至るには一定のパターンがあることが見えてきた。成功には定石がないが、失敗には定石がある。本書では 11 項目の「破綻の定石」に分類し、教訓を示している。

どの事例も具体的でわかりやすく、経済ミステリーの短編集を読んでいるようなスリリングな内容となっている。

Q 1 : この本を手にとられたきっかけについて

あまりにもインパクトのあるタイトルが目に入り購入しました。成功事例を取り上げた書籍は多く出版されていますが、失敗事例だけをまとめたものは見たことがありません。それと、事例で掲載されているのが中堅・中小企業ということもあり、身近に感じました。

Q 2 : この本をお薦めしたい理由について

成功事例の話をそのままコピーして自社で展開するのは難しく、相当なアレンジが必要です。

一方、失敗事例はアレンジすることなく自社で活かせる場合が多いと思います。経営とはさまざまなブロックを積み重ねていくものです。ただしそのブロックは一つの判断ミスで簡単に崩れてしまう恐れがあります。そうならないためには、たくさんの失敗事例を学び、失敗の原因を特定し、経営判断を行う転換期に判断ミスをする事ができないよう備える必要があります。

私は、創業して45年経過しましたが、その間オイルショック、プラザ合意による円高、バブル崩壊等々を経験しました。事業の発展・継続には、社会の移り変わりに敏感になることが大切だと常に考えています。この本で示されている「破綻の定石」を教訓として、さらに事業の発展に結びつけられればと願っています。

Q 3 : どういった方にお薦めしたいですか

経営者および時代を担う管理職の方々にお薦めしたいです。時代の変化はますます激しくなり、企業が抱えるリスクは増える一方です。この本を参考に失敗リスクを減らしていただければと思います。



センサ・電子機器メーカー
株式会社村上技研産業

株式会社 村上技研産業

本 社: 和泉市池上町3丁目9番55号

資 本 金: 1,000 万円

創 業: 昭和48年4月21日

事業内容: センサ・電子機器の開発、製作及び販売